

感染症情報 6月30日～7月6日

府下小児科186医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,001例(堺市	39例)
②伝染性紅斑	509例(堺市	43例)
③溶連菌感染症	278例(堺市	30例)
④ヘルパンギーナ	258例(堺市	7例)
⑤手足口病	219例(堺市	37例)

府下292医療機関(堺市25)から

インフルエンザ 73例(堺市 9例)

報告数による順位。前週比1.7%増の2,599件。感染性胃腸炎は府下で前週から2例減、堺市で前週52例→今回39例。伝染性紅斑が府下で14%増、堺市で前週35例→今回43例。溶連菌感染症が府下で23%減、堺市で前週52例→今回30例。ヘルパンギーナが府下で70%増、堺市で前週・今回とも7例であった。手足口病が府下で6%増、堺市で前週24例→今回37例(54%増)。

インフルエンザが府下で前週・今回とも73例。堺市で前週2例→今回9例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で62例→81例は31%増、堺市は1例→0例であった。今年に入ってからの府内の累積報告数は1,921例となった。

府下292医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症 557例(堺市 53例)
大阪府定点 1.91 堺市定点 2.12

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で56%増、定点当たり1.22→1.91。堺市は29例→53例(83%増)、定点当たり1.16→2.12となった(府内ブロック別でワースト2位)。

府下292医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 10,923例(堺市 1,010例)
大阪府定点 37.41 堺市定点 40.40

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より6%増、定点当たり35.38→37.41、堺市で前回より3%増、定点当たり39.12→40.40であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。